

## 6 - 11 犬山における地殻変動観測 (1986年8月まで)

### Crustal Strain and Tilt Observations at Inuyama

名古屋大学 理学部

犬山地殻変動観測所

Inuyama Crustal Movement Observatory  
School of Science, Nagoya University

犬山地殻変動観測所で観測された1986年8月までの資料について、得られた結果を報告する。各資料の図は、どれも前回報告にそれ以降の資料を追加して図示したもので、資料の質や計算処理法に関しては、同報告に記載されている方法と同一なので参照されたい。

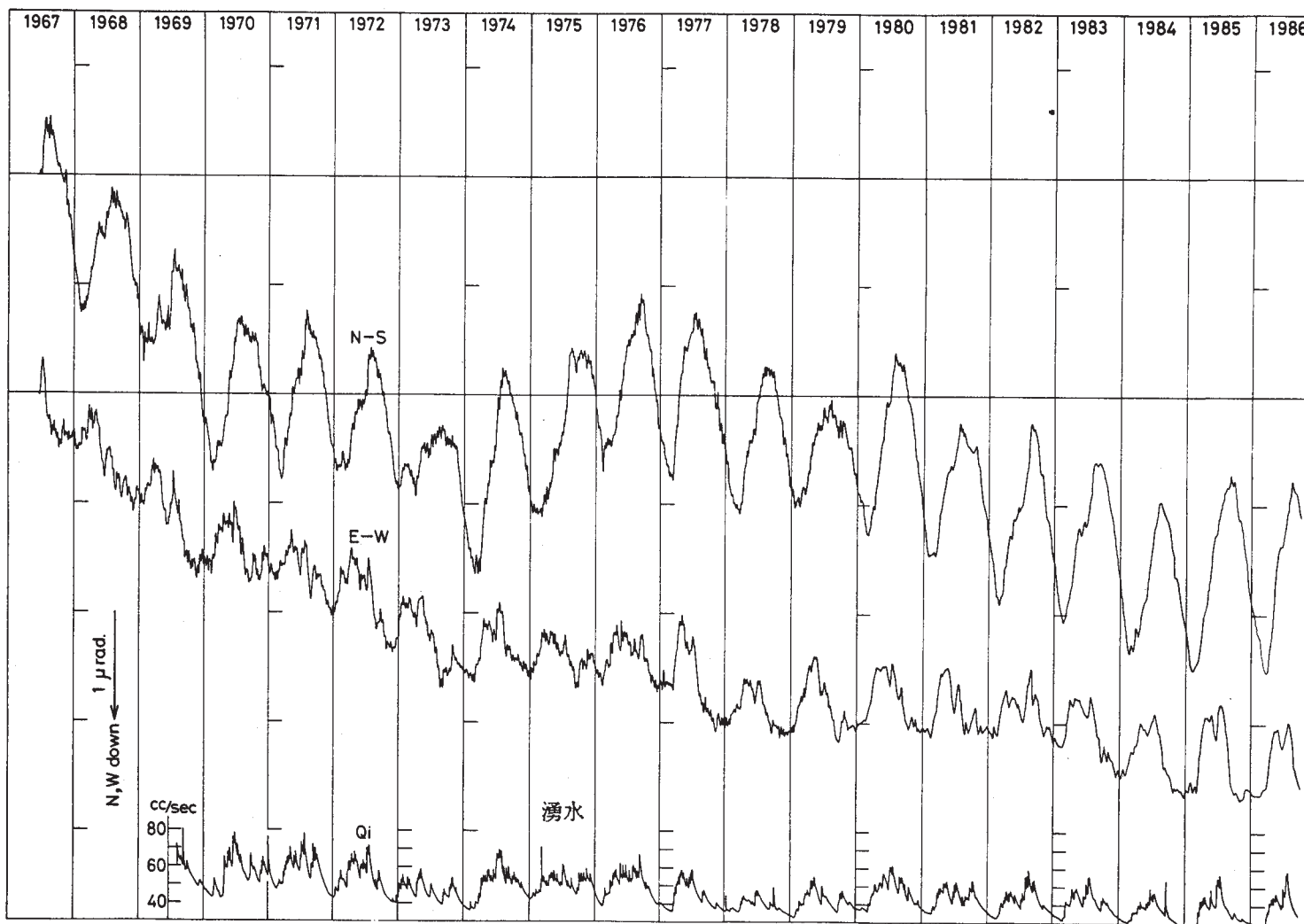
第1図は、基線長30mの読み取り式水管傾斜計2成分による資料である。第2図は、石本式水平振子傾斜計2成分による資料で、全期間を通じて感度更生がしてある。固有周期は少しずつ変化していて、1986年ではNS,EW各成分それぞれ、45秒、60秒になっている。第3図は、10日間降雨量、坑内ゆう水量、坑内水温の変化を示す。

各資料の示す変化様式には、特記すべき事柄はあまり認められず、定常的な状態が持続していると判断されるが、特徴的な事項を挙げれば次のようなものである。

- 1) 坑内水温の変化が意外に大きい。
- 2) 長周期変化に特徴的な時期がいくつか認められる。1984年はそのような時期に当たるかもしれない。
- 3) 坑内ゆう水量は定常的に遞減している。その上に、2)項の変化様式と対応がつく特徴的な長期変化がある。
- 4) 2), 3)項で認められる特徴は、広域な気象変化、主として降雨の長期変化に起因して現われた可能性が強い。

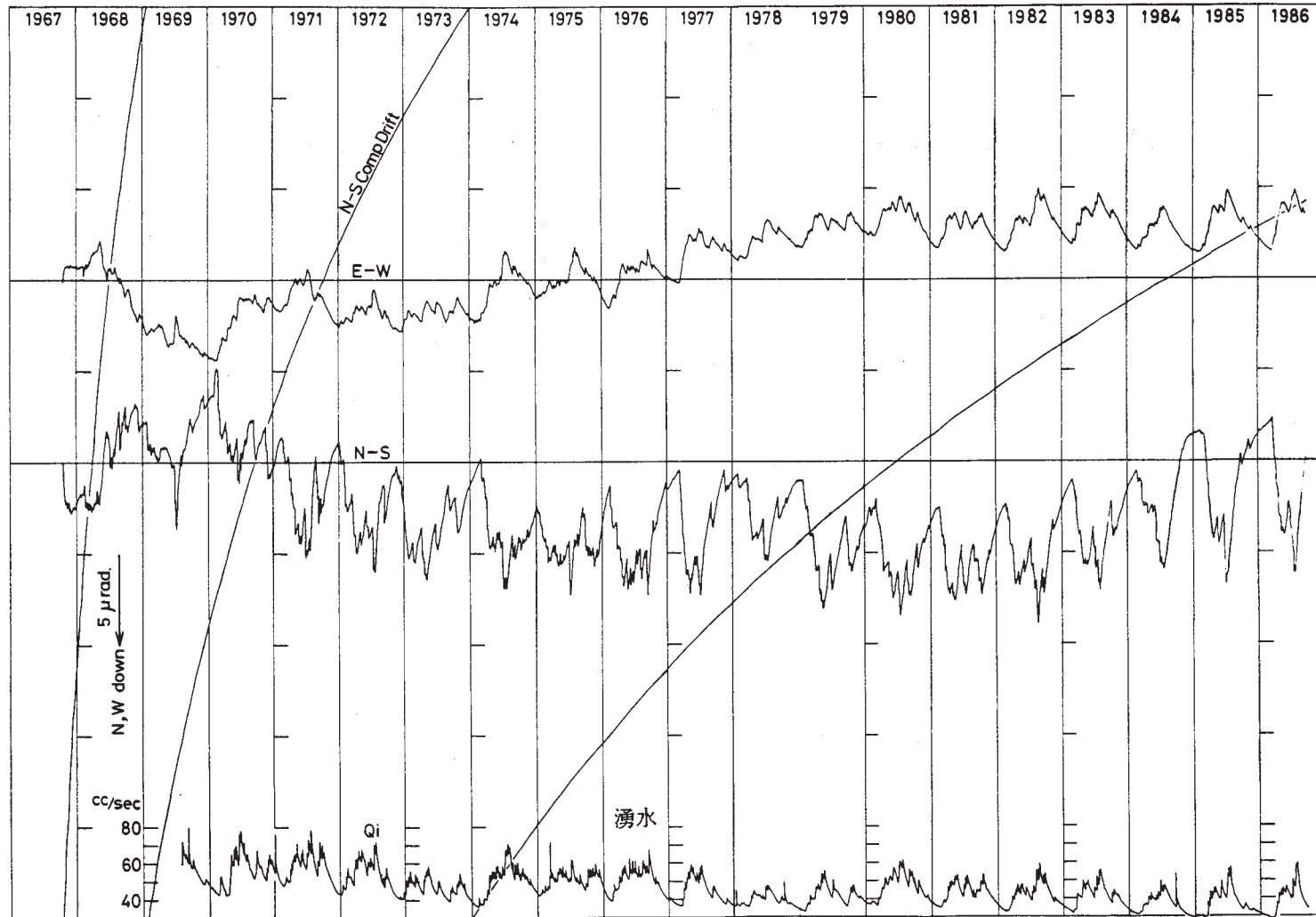
#### 参 考 文 献

- 1) 名古屋大学理学部犬山地殻変動観測所: 犬山における地殻変動観測 (1982年末まで), 連絡会会報, **30** (1983), 354-358.



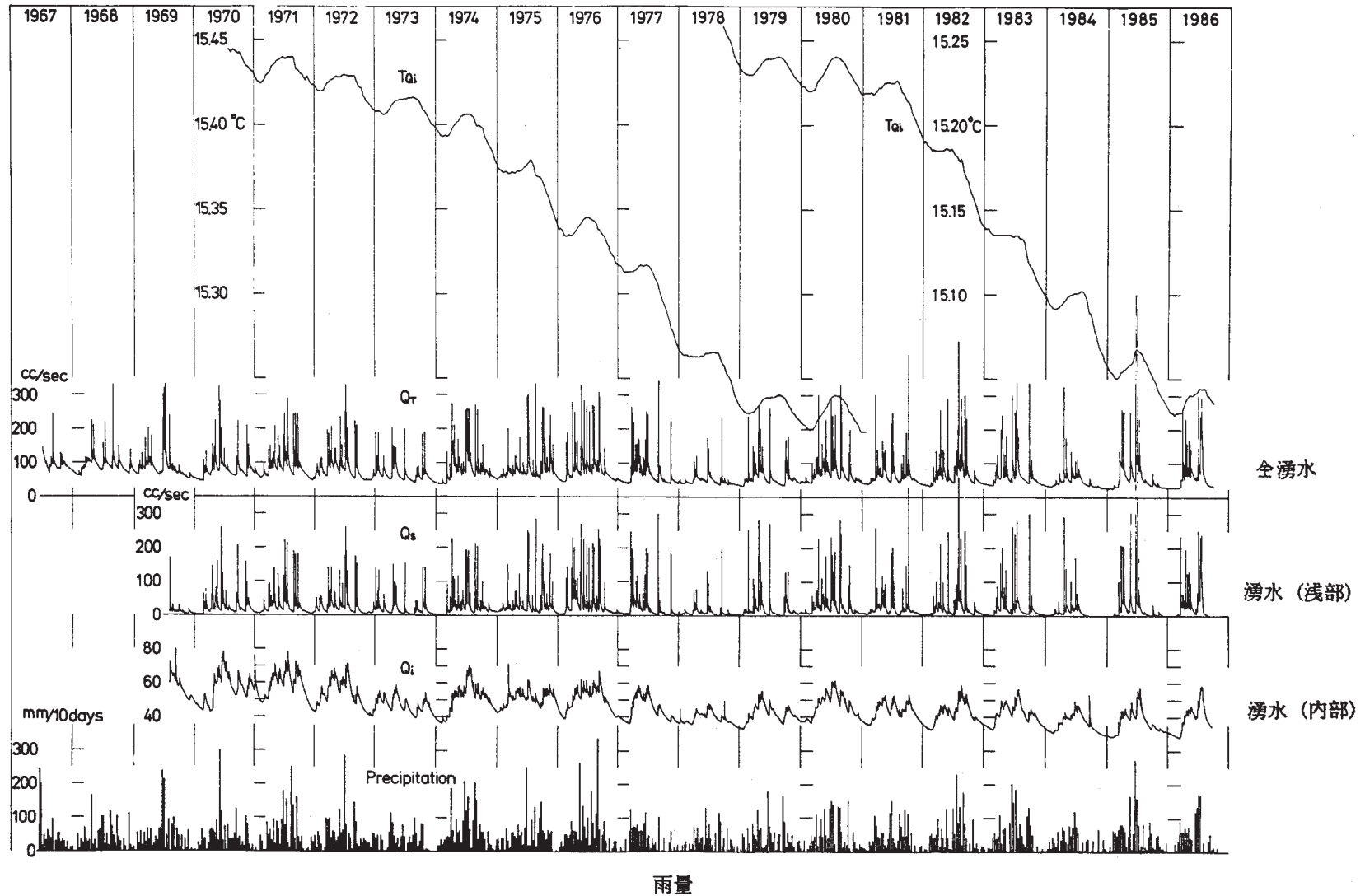
第1図 犬山における水管傾斜計による傾斜変化と坑内ゆう水量変化

Fig. 1 Time variation of water-tube tiltmeter readings (smoothed for the elimination of reading errors) and water seepage from the inner part of the vault at the Inuyama Crustal Movement Observatory.



第2図 犬山における水平振り型傾斜計による傾斜変化と坑内湧水量変化

Fig. 2 Time variation of horizontal pendulum tiltmeter readings (normalized for the sensitivity changes) and water seepage.



第3図 犬山における雨量，坑内ゆう水量，坑奥部水温の変化

Fig. 3 Time variation of precipitation, seeping water, and water temperature at the deepest point of the vault.  
 Qi: Seepage from the inner part of the vault.  
 Qs: Discharged water due to rainfall near the entrance part of the vault.  
 QT: Sum of Qi and Qs.  
 TQi: Seeping water temperature.